

松戸市男女共同参画プラン第6次実施計画の目標値に対する令和6年度実績値一覧

資料4

●基本目標Ⅰ. あらゆる分野における男女共同参画の推進

課題1. 政策・方針決定過程への女性の参画促進

★は市民意識調査による

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
1	松戸市の審議会等における女性委員の割合	25.1%	24.8%	25.0%	26.6% ※1,133人中301人	40.0%	・総合計画(R11)の目標値 ・国の基本計画の目標値が前回のプランの目標値であったが、達成されなかつたため	42.0%
2	農業委員及び農地利用最適化推進委員に占める女性の人数	1人	1人	2人	2人	2人	・千葉県農業会議による「農業委員実態調査」からの数値 ・農業委員14人、農地利用最適化推進委員7人、合計21人	14.0%

課題2. 就労の場での男女共同参画の推進

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
1	まつど女性就労・両立支援相談者のうち就労者数	71人	50人	44人	57人	92人	・総合計画の指標に準じる ・今後、就労相談の回数を増やすことを想定 (年間相談人数:R3=延べ372人)	
2	保育所の待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	・厚生労働省が定めた待機児童の定義に基づく待機児童数0の達成	【待機児童数】 2,567人
3	放課後児童クラブの待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	・待機児童が生じないよう、利用希望者数に合わせて施設の確保を行う	【利用出来なかった児童数】 17,696人
4	在宅介護者の介護離職率	6.5%	—	13.2%	13.2%	5.9%	・年0.1ポイントの離職率減少を目指す	
★	5 職場での男女平等観[市民意識調査]	26.0%	—	—	—	50.0%	・国の基本計画に準ずる	

課題3. ワーク・ライフ・バランスの実現

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
★	1 小学生以下の子どものいる男性の育児時間が1時間未満の人の割合[市民意識調査]	55.7%	—	—	—	45.0%	・総合計画の指標に準じる ・対象者のうち1時間以上を希望する割合と現状との差から設定	
★	2 小学生以下の子どものいる男性の家事時間が1時間未満の人の割合[市民意識調査]	64.6%	—	—	—	50.0%	・対象者のうち1時間以上を希望する割合と現状の概ね中間値を設定	

課題4. 地域における男女共同参画の推進

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
1	まつど地域活躍塾修了者数(累計)	132人	176人	210人	246人	254人	・総合計画及び第4次協働推進計画の目標値に基づき設定	
2	町会・自治会長における女性の割合	6.3%	7.8%	9.5%	10.1%	10.0%	・国の第5次男女共同参画基本計画の目標値を参考に設定	7.3%
★	3 地域活動での団体の長の女性の割合[市民意識調査]	27.2%	—	—	—	40.0%	・総合計画の「審議会の女性割合」の目標に準じる	
★	4 地域活動での固定的性別役割分担が「よくある」「時々ある」と答えた人の割合[市民意識調査]	27.6%	—	—	—	20.0%	・地域活動で性別役割分担が必要であると考える人の割合が13%だったので、その間をとって20%	

課題5. 防災における男女共同参画の推進

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
1	防災会議の女性委員の割合	20.9%	18.6%	17.8%	17.8% ※45人中8人	30%	・内閣府男女共同参画局の災害対応力を強化する視点～男女共同参画からの防災・復興ガイドライン～にあるとおり3割を目指す	都道府県:23.3% 市区町村:11.3%
2	防災に関する啓発活動の実施回数	2回	19回	29回	45回	40回	・国土強靭化地域計画においても同数値で設定 ・R3年度は新型コロナ感染症の影響で実施回数は減少したが、毎年40回の実施を目標	
3	消防団員の女性の人数	30人	38人	35人	44人 ※510人中44人(8.6%)	50人以上	・国が目標としている令和8年度までの消防団員に占める女性割合10%という数字を参考	3.8%
4	男女別トイレの備蓄率	26.4%	—	31.8%	34.6%	62.3%	・全避難所106か所中、小中学校の避難所をメインに備蓄を行っており、市内小中学校の全66か所の備蓄を設定	

●基本目標II. すべての人が尊厳をもって生きることができる社会の構築

課題6. 配偶者等からの暴力の根絶

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
★	1 DVがあった人のうち、誰かに相談した割合〔市民意識調査〕	21.0%	—	—	—	50.0%	・相談できる相手が見つからなかった10%と、自分が我慢すればいいと思った23.7%を加えると54.7%なので50%とする	

課題7. 貧困等生活上の困難に対する支援

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
1	母子・父子就労促進プログラム策定件数	43件	30件	37件	41件	50件	・H30年度47件、R1年度46件、R2年度45件、R3年度43件と推移している経緯を踏まえ設定	
2	ひとり親交流会参加者数	41人	16人	24人	22人	48人	・12人(1回の参加者数)×4回(年間の開催数)を継続すると想定	【ひとり親世帯】 母子:119.5万世帯 父子:14.9万世帯

課題8. 生涯を通じた健康支援

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
1	子宮頸がん検診受診率	13.6%	—	13.5%	13.9%	19.6%	・令和3年度を基準にして、毎年1ポイント増加を目標	
2	乳がん検診受診率	12.6%	—	14.0%	14.1%	18.6%	・令和3年度を基準にして、毎年1ポイント増加を目標	

課題9. 多様な性を尊重する社会づくり

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
★	1 「性的マイノリティやLGBTという言葉を知っている」と答えた人の割合〔市民意識調査〕	88.1%	—	—	—	95.0%	・100%を目指したいが難しいと考えたため	

課題10. 感染症の影響等、社会経済状況の変化による男女共同参画の課題の解決

【なし】※各課題にて対応

●基本目標Ⅲ. 教育等を通じた 意識改革、理解の促進

課題11. ジェンダー平等や人権尊重の教育の推進

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
★ 1	「女の子は女らしく、男の子は男らしく育てるのがいいと思うか」に対し、「賛成」と「どちらかといえば賛成」と答えた人の割合[市民意識調査]	31.1%	—	—	—	20.0%	・前回(H28)で48.2%だったが、そのうち約35%が減ったので、31%の約35%が減ると考えると20.15%	
★ 2	「女性は女らしく、男性は男らしくした方がいいと思うか」に対し、「そう思う」と「ある程度はそう思う」と答えた児童・生徒の割合[児童生徒アンケート]	21.9%	—	—	—	10.0%	・前回(H28)で49.6%だったが、そのうち約55%が減ったので、21.9%の約55%が減ると考えると9.9%	
★ 3	データDVという言葉の認知度で「知っていた」と「聞いたことがあった」と答えた児童・生徒の割合[児童生徒アンケート]	中学生45.8% 高校生79.3%	—	—	—	中学生70.0% 高校生85.0%	・前回(H28)との比較で中学生31.0%→45.8%(14.8ポイント増)、高校生76.1%→79.3%(3.2ポイント増)を参考	
★ 4	性被害等にあった時に誰かに相談したと答えた児童生徒の割合[児童生徒アンケート]	68.4%	—	—	—	100.0%	・被害にあった場合は、すべての子どもが相談できることが重要	

課題12. 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
★ 1	「女性も男性も、将来子どもが生まれても仕事を続けた方がいいと思うか」で「そう思う」「ある程度そう思う」と答えた人の割合[市民意識調査]	51.4%	—	—	—	55.0%	・前回(H28)49.3%で今回51.4%(2.1ポイント増)なので3ポイント程度増を考慮	
2	学校における女性管理職(校長・副校長・教頭)の割合	22.8%	—	23.5%	24.8%	25.0%	・文部科学省が定める教頭以上に占める女性の割合(第5次計画成果目標値)	小:校長28%教頭32% 中:校長12%教頭20% 高:校長11%教頭14%

●計画の推進体制

方策1. 推進体制の整備・強化

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
1	男女共同参画プランの指標の達成率	33.3%	—	27.3%	31.8%	60.0%	・100%を目指したいが難しいものもあるため	
2	松戸市役所の課長相当職以上の管理職に占める女性の割合	18.9%	22.2%	22.2%	22.7%	20.0%以上	・松戸市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画(後期計画)」を準用 ・本省課室長10.0% ・都道府県本庁課長:16.0%	

方策2. 男女共同参画センターゆうまつどの機能強化

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
1	講座・講演会の参加者数	738人	667人	915人	881人	900人	・男女共同参画に関心を持つてもらえるよう情報を発信しつつ、オンラインやオンデマンドの活用により、年30人のペースで増加させる	
2	市民企画支援事業補助金交付件数	7件	7件	10件	11件	13件	・広報活動等を強化し、交付件数を年1件のペースで増加させる	
★ 3	ゆうまつどの認知度[市民意識調査]	女性53.0% 男性24.1%	—	—	—	女性65.0% 男性35.0%	・前回(H28)から女性45.2%(7.8ポイント増)→1.5倍の12ポイント増で65%、男性19.5%(4.6ポイント増)→1.5倍の7ポイント増で31%なので切り上げて35%と設定	

方策3. 市職員の男女共同参画の推進

事業名		令和3年度 (第6次計画策定現状値)	令和4年度	令和5年度 (第6次計画スタート)	令和6年度	令和9年度目標値及び目標値設定の考え方		※国実績値(R7年度版男女共同参画白書より)
1	男性職員の育児休業取得率	16.1%	31.5%	42.9%	76.6%	30.0%	・国の基本計画で定められている「令和7年までに30%」を参考 ・国家公務員:52.1% ・地方公務員:47.6%	
2	仕事と家庭生活の両立支援制度に満足していると答えた人の割合(特定事業主行動計画アンケート)	83.8%	—	79.7%	84.7%	90.0%	・松戸市特定事業主行動計画で定めている「令和6年までに90%」を参考	